

情報を先取り、タブーに挑戦

財界オッポス

昭和三十九年三月三日第三種郵便物認可
令和四年十一月十五日発行 第六十一巻 第号(毎月十五日発行)

特集 全15ページ

2023年
新年
特大号

ボールパーク元年

- 北広島駅からGO!これが最短ルート ●ホテル&大型商業施設は難航か
- 新駅予定地周辺を大林組が全買収 ●「タワー11」など目玉施設を大紹介!
- 新球場受注レース先行するも、まくられちゃった清水建設 ●シャトルバス運行はどうなるの(ほか)

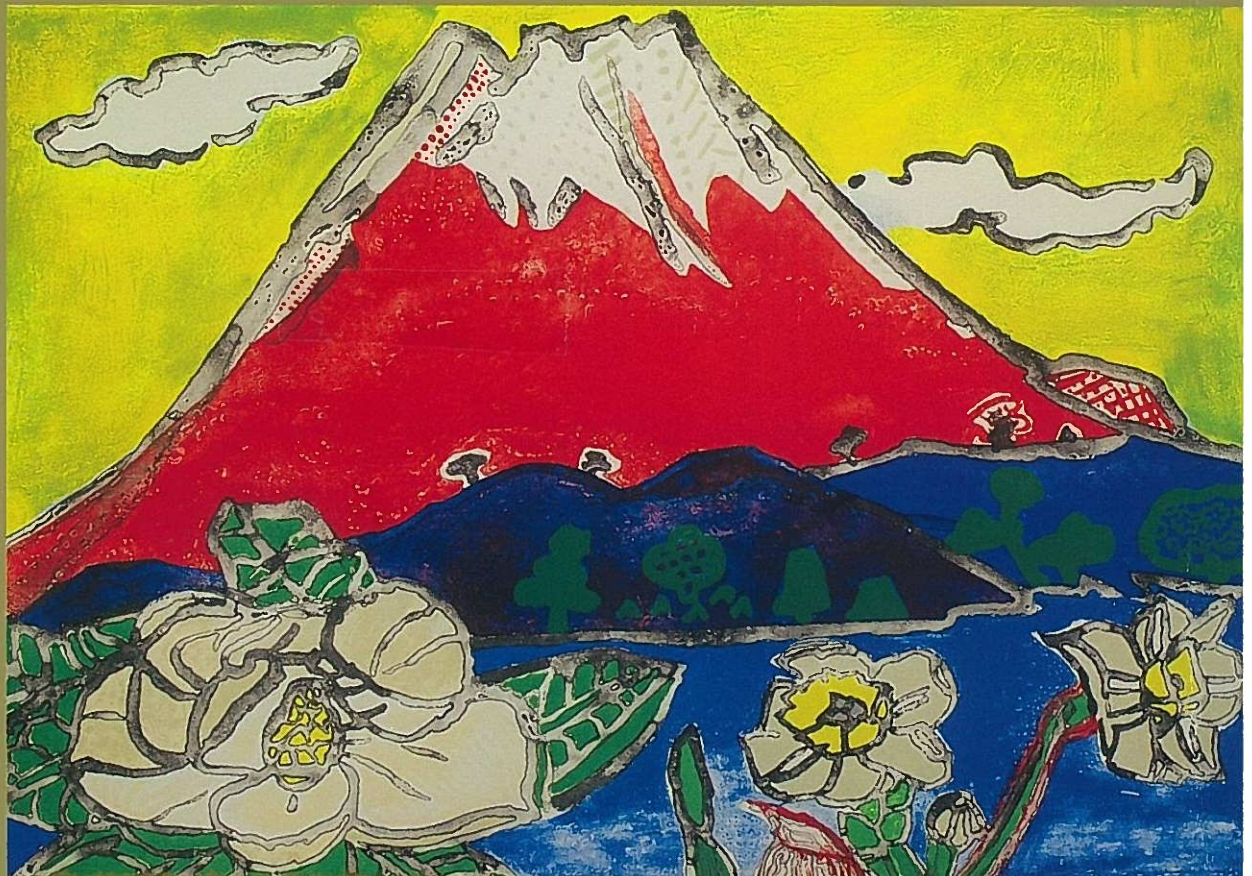
鈴木直道知事は 実は丘珠滑走路延長に乗り気じゃない

観光関連で汚職?噂が飛び交う紋別・宮川市政
JA道中央会がてん菜で大失態、元凶は誰だ!?
杉谷拳士・[連載]ファイターズじゃないと「スペシャル編、

新春特別企画

163のトップ・企業が登場
2023年の決意

全173
ページ



一歩一歩着実に。固定収入で安定した経営を実践

マサル不動産

札幌市北区北34条西3丁目 マサルビル1階
TEL 011-717-5950 <https://www.masaru34.com/>

地下鉄南北線「北34条駅」
徒歩1分にある本社

22年11月に完成した
自社企画の保有物件



23年に会社設立15周年を迎える「マサル不動産」。収益不動産のオーナー業と賃貸アパート・マンションの管理業務を主事業としている。

と保有物件を増やし、20年からは自社企画の新築賃貸マンションの保有にも乗りだした。22年は自社で企画した新築物件を1棟加え、所有物件は20棟を数える。

菊地勝裕社長は「オーナー業・管理業ともにストック型ビジネスの典型であり、安定した固定収入が見込めます。現在、売り上げの約3割を占める固定収入の割合をさらに高め、安定経営につなげていきたい」と語る。



22年6月に完成した自社企画の新築賃貸マンション



菊地勝裕社長

今後の不動産市況については「終活の一環として賃貸物件を現金化する団塊世代のオーナーが一定数おり、数年後、市況は大きく変化するはずで、近頃訪れる『買い時』に備え、内部留保を蓄えていきます」と菊地社長。

一方、売買仲介件数は、21年の7割程度に落ち着いた。菊地社長は「資産運用として個人で所有する顧客オーナーにとって、地価や住宅資材の高騰が顕著な現在は、買い時とは言いがたく、積極的な提案は控えています」と説明。顧客本位の姿勢を貫く。